

いずもぎき

# 議会だより

第82号

2014  
平成26年1月23日



## 12月定例会

### もくじ

・ 11月臨時会	.....	2
・ 12月定例会	.....	3
・ 全員協議会、予算審査	.....	4
・ 議会の動き	.....	5
・ 一般質問（2人が町政をただす）	.....	6
・ 中学校生徒との意見交換会、学校訪問	...	8
・ 行政視察	.....	9
・ おじゃまします！	.....	10

出雲崎小学校書初大会

# 11月臨時会

(会期 11月1日 1日間)

臨時会では平成25年度一般会計補正予算（第5号）議案1件が提出され、慎重審議の結果、原案のとおり全会一致で可決されました。

## \* 11月臨時会で決まった補正予算 \*

△は減額

会 計	補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第5号)	△ 4155万円	36億3648万円

### 主 な 歳 入

- ・ 地方交付税 …………… 260万円
- ・ 農業費分担金 …………… 190万円
- ・ 公共土木施設災害復旧費負担金減… △1780万円
- ・ 農業用施設災害復旧費補助金減… △1300万円

### 主 な 歳 出

- ・ 町障がい者グループホーム開設  
事業費補助金(稲荷町地内) …………… 200万円
- ・ 長雨被害緊急支援事業助成金 …………… 463万円
- ・ 農業用施設災害復旧工事減 …… △2000万円
- ・ 林道施設災害復旧工事減 …………… △620万円
- ・ 25年災道路災害復旧工事減 …… △2670万円



提案理由の説明

12月定例会で可決した  
条例改正 (主なもの)

◆町消防団の定員・任免・服務等に関する条例の一部改正

・ 任命権者が認められた時に限り、管轄区域内に居住又は勤務していなくても団員資格を得られるための改正

◆町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

・ 仮設トイレのし尿くみ取り手数料の一部改正

◆町簡易水道事業給水条例の一部改正

・ 平成26年度4月1日からの消費税率改正に伴う一部改正

請 願

請願第1号

採択に決定

新聞への消費税の軽減税率適用に関する請願

請願第2号

採択に決定

TPP交渉に関する請願

可決した意見書

◆新聞への消費税の軽減税率適用を求める意見書

提出先

衆議院議長・参議院議長  
内閣総理大臣

提出先

◆TPP交渉に関する意見書  
内閣総理大臣・内閣官房長官  
外務大臣・農林水産大臣  
経済産業大臣・経済再生担当大臣

# 12月定例会

(会期 12月10日～16日 7日間)

定例会では議会報告3件、平成25年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算、条例の一部改正、人事案件など議案10件が提出され慎重審議の結果、原案のとおり可決・同意しました。なお、請願2件を採択し意見書2件を可決しました。

## \* 12月定例会で決まった補正予算 \*

△は減額

会 計	補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第6号)	1202万円	36億4850万円
会特別 計別 簡易水道事業 (第3号)	39万円	2億 463万円

### 一般会計補正予算 (第6号)

#### 主な歳入

- ・固定資産税 …………… 249万円
- ・地方交付税 …………… 1億2606万円
- ・寄附金 …………… 134万円
- ・町債 …………… 1857万円
- ・財政調整基金繰入金減 …………… △1億3020万円

#### 主な歳出

- ・県営中山間地域総合整備事業  
負担金追加 (六郎女地区) …………… 195万円
- ・全国地元めしイベントPR参加補助金 …… 106万円
- ・4の3消防詰所新築工事 (小木地内) …… 600万円
- ・全国瞬時警報システム改修工事 …… 165万円
- ・中学校校舎外壁補修工事  
設計業務委託料 …………… 157万円
- ・中央公民館トイレ入替工事 …………… 128万円

### 簡易水道事業特別会計補正予算 (第3号)

#### 歳 入

- ・土地売払収入 …………… 39万円

#### 歳 出

- ・消毒用薬品追加 …………… 39万円

## 平成25年12月定例会での請願の審議結果

(なお議案10件については全会一致で可決されました)

議案等の名称	議員名 議決 結果	山崎	三輪	宮下	中野	中川	高桑	田中	仙海	加藤	諸橋
新聞の消費税の軽減税率 適用に関する請願	可	—	賛	賛	賛	賛	賛	否	賛	否	否
TPP交渉に関する請願	可	—	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

※議長は採決に参加できません。

## 人 事 案 件

平成26年4月1日から3年間

人権擁護委員の候補者の推薦に同意

磯 部 友記雄 (大門)

# 全 員 協 議 会

## 第10回 11月1日開催

### ◎婚活プロジェクト「まち恋」の実施状況について

総務課長 10月12日に長岡市のゲストハウス英國屋で行われました。男性20名、女性18名の参加があり、9組のカップルが誕生しました。参加者アンケートでは、おおむね良かったとの回答が多く、今回を参考に今後もより良い機会を考えていきたいと思えます。

しつかりと受け止め、今後もこの事業は積極的に進めていきます。

### ◎天領の里物産館脇の観光用公衆トイレの設計について

宮下・仙海・中川議員

設計位置・形状については再度検討する必要がありますと思われる。第三駐車場にもトイレを建設したほうが良いと考えます。

### ◎「平成25年度米」の検査結果について

諸橋・三輪議員

一部の地域では早期倒伏や長雨により刈取りを諦めた地域もあります。来年に向け、JAと協力してより良い営農指導を進めてほしい。

### ◎津波避難訓練について

総務課長 平日の訓練でしたが、事業所にも呼びかけ402名の方から参加をいただきました。またJアラートを使ってメール配信の訓練も行いました。

町長 今回の課題や意見を

踏まえて今後もぜひ続けていってほしい。

三輪議員 年齢や実施場所について

宮下・仙海議員 男性は40歳まで

には40歳を過ぎた人の参加も受け付けたいと聞きます。柔軟な対応をするのであれば、そのことを周知させるべきです。

### ◎児童クラブ実施事業について

仙海議員 児童クラブの児童を対象に

コーデイネーショントレーニング教室が実施されているが、全児童を対象を広げられないでしょうか。

教育課長 児童クラブの児童を対象に

開始した事業ではありますが、参加されたい方もおられるので、対象の拡大を検討いたします。

#### 一〇Xモ

#### コーデイネーション

トレーニングとは

全身の動きを統合し、運動の器用さを高めるトレーニングの一つです。

## 第11回 12月16日開催

### ◎子育て支援型町営住宅の概要について

建設課長 JA跡地に木造3階建ての

ミキハウス子育て総研の「子育て認定」を受けた町営住宅の建設を計画しております。

中川議員 JA跡地検討委員

会の提言では、町営住宅の建設に触れていませんが、どのように説明されますか。

## 予算審査特別委員会

### 質疑

12月定例会において、一般会計及び特別会計は予算審査特別委員会に付託して審議しました。

### 主な質疑

船橋地内福祉の里  
用地整理費 22万円

中野議員 地権者が数名おられるが、今後の貸し借りについて、町はどのように関与していきますか。

総務課長 町も地権者として、今後も関与していきます。

子ども子育て会議  
委員報酬 8万円

高桑議員 委員構成は、また子育て世代の生の声を吸い上げることが大切と考えますが。

保健福祉課長 委員は8名で年間2回の会議を予定。委員は保育園や小学校関係者、公益代表などを考えている。ニーズ調査やワーキンググループ、分科会等で子育て世代の声を反映してまいります。

中央公民館  
トイレ入替工事 128万円

田中・加藤議員 和式、洋式の2種類となっておりますが、全て洋式が良いのではないのでしょうか。また、人工肛門に対応したオストメイトの設置も検討すべきです。

教育課長 和式を残したのは、予算的な都合と洋式を嫌う方がいるためです。オストメイト対応トイレについては今後検討いたします。

駅前町有物件  
解体撤去工事 183万円

宮下議員 工事が高額と思われませんがその理由を。また、もう少し精査すべきではないでしょうか。

産業観光課長 物件が県道、町道に面しており、また隣の集宅に接近しているため、誘導員の配置等に経費がかかります。



子育て支援型町営住宅 (イメージ)

**町長** 検討委員会からは多岐にわたる貴重な提言をいただきました。「将来の出雲崎町の大きく発展することに寄与する施設にしてほしい」という結びがあります。急激な少子高齢化を迎えているわが町にとって、人口減少対策は不可欠です。委員会で考え方をご説明し、おおむねご理解いただいたものと受け止めていきます。

**三輪議員** 子育て世代が対象となると、子どもが成長した後は住宅を出ないとなりません。その際の基準を明確にし

ないといけないと考えます。また、旧うしお書店跡はどのようにお考えですか。駅前地区の現状として、集会所のよ

**町長** 町営住宅は26年度から27年度で完成させたい。情報発信基地として考えてきた、旧うしお書店跡地については、今、いろいろな情報をもとに検討を重ねています。4月頃にはお示ししたいと思

**宮下議員** 細かなことを一つ一つ精査し、検討することで失敗のないものを作っていくかなければならないと考えま

**加藤議員** 降雪時、駐車場の融雪や除雪については対策を

**建設課長** 既存の井戸の利用や、除雪機の貸し出しなどが

**仙海議員** 定住促進につなげたいとなると、子どもが成長する数年後には、町内宅地造成等の次の策を考えていますか。

**町長** そのとおりです。町外

に大きくアピールし、必ずや応募があると考えています。その方々には、この町に住宅を建ててもらいたいと考え

◎出雲崎町奨学金について

**高桑議員** 町の奨学金は無利

子であり、進学する場合、経済的に有利な制度になっていきます。ただ、他の奨学金と併用できないため、受けられない場合は、早く決定を通知しないと次の奨学金受給先を探せません。現行5月の決定通知を早めることはできませんか。

◎教育課長

募集期間と決定時期を一カ月程度早めます。また、相談を常時受け付けるとの広報も徹底いたします。

◎高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業について

**保健福祉課長** 平成26年4月から後期高齢者医療制度加入者を対象に助成事業を実施したいと考えます。

議会のつどひ (主なもの)

(平成25年10月～12月)

24	14	12	11	10	3	28	19	13	12	6	11	1	30	28	17	9	4	3	2	10	1																				
議会報特別委員会 (議会だより82号)	現地調査 (エコパークいずもぎき)	第11回全員協議会	定例会最終日	議会運営委員会	総務文教常任委員会	社会産業常任委員会	予算審査特別委員会	定例会2日目 (一般質問)	12月定例会招集日	議会運営委員会	議会運営委員会	第10回全員協議会	行政視察 (鳥取県日南町、鳥根県奥出雲町)	総務文教常任委員会 学校訪問	第57回町村議会議長会全国大会 (東京都)	中学校生徒会役員との意見交換会	新年度予算編成に関する意見交換会	議会運営委員会	議会運営委員会	出まえ議会 (八手地区農環センター)	出まえ議会 (西越地区農環センター)	出まえ議会 (海岸公民館)	議会報特別委員会 (議会だより81号)	広報研修会 (新潟市)	議会運営委員会	町村議会議長・副議長・委員長・事務局	長研修会 (新潟市)	第6回臨時議会	第10回全員協議会	出まえ議会 (川西公会堂)	議会報特別委員会 (議会だより81号)	出まえ議会 (八手地区農環センター)	出まえ議会 (西越地区農環センター)	出まえ議会 (海岸公民館)	議会報特別委員会 (議会だより81号)	広報研修会 (新潟市)	議会運営委員会	町村議会議長・副議長・委員長・事務局	長研修会 (新潟市)	第6回臨時議会	第10回全員協議会

# 一般質問 **おたずねします** **お答えします**



三輪 正 議員

## 国土(地籍)調査の

## 推進を

### 調査は地域づくりの基礎

**質問** 国土(地籍)調査は地域づくりの基礎となる大変重要な事業です。

以前、一般質問で平成14年、19年に先輩議員が事業の推進を取り上げています。

土地の境界や地目、面積などを明確化することで、  
①境界の争いを未然に防ぎ、個人の財産の保守や土地取引の円滑化を図る。  
②公共事業や街づくり、迅速に災害復旧が行われる。  
③境界がわからず手入れができない山林の整備が促進される。

など、メリットは非常に大きいものがあります。

### 調査の準備を進めている

**答弁** 今、町では手順を考えており、調査結果をもつて進めていきます。

### 調査のメリットは大きい

**質問** 東日本大震災の被災地視察で、釜石市では地籍調査が進み、復旧工事がスムーズに進むと説明がありました。また中越地震の県道復旧において、調査完了地では非常に早く工事が実施されました。現在では山へ行く回数が少なくなり、ますます境界がわからなくなっています。間伐の促進や木質バイオマスの活用の中でも、境界が不明で

は木が切れない状況です。  
**答弁** 私自身、山林の境がわからず苦労した経験があります。災害復旧時には境界の確認に大変苦労します。また、境界を知る人が年々少なくなり心配しています。

### 山村境界基本調査で

### 境界確認を急げ

**質問** 調査が遅れているのは住宅地と山林です。当町は調査済が3%と極めて低い値です。県内では津南町、聖籠町が完了しています。

国では境界の情報が年々なくなるため、平成22年より「山村境界基本調査」を実施しています。当町でも実施する考えはありませんか。

**答弁** 一部の確認だけでは将来に問題が起きます。あくまで国土調査が必要と考えています。

### 事業を迅速に進める

**答弁** この事業は急がなければなりません。迅速に進めていきます。



土地の境界を明確に

# 産業と観光の今後は

## グランプリ第1位

### サザエの炊き込みご飯を町の活力に



加藤 修三

議員

**【答弁】**

大阪の新潟観光物産

#### 出雲崎を広くアピール

**【質問】** 柏崎市で行われた国際ご当地グルメグランプリにおいて、町商工会のサザエの炊き込みご飯がグランプリに輝いたことは、町民として誇りに思います。その結果、メディアに取り上げられ追い風の今、当町の知名度を更にするため、近隣市町村、県内外のグランプリ等積極的に参加し、当町を全国にアピールし来町者の増加や観光の活力につなげるチャンスです。このグランプリへの参加は、町民関係者の熱意をもって行われたもので非常に意義があります。大切に育てていく必要があります。この千載一遇のチャンスを、更なる町の魅力や知名度アップに、観光客の増加や町の活性化に活かすべきと考えますがその具体的なビジョンを伺います。

展、東京観光誘客懇談会でのサザエの炊き込みご飯は大好評でした。この機会にサザエの炊き込みご飯を中心に、出雲崎の食文化を行政も全力を挙げ、あらゆる場で広くアピールしていきます。

#### 水産業の資源確保と保護は

**【質問】**

大漁祭り、きずなや海開きなどでサザエのつかみ取りや袋詰め放題はいつも大盛況で行列ができています。サザエの炊き込みご飯を求め来町する客数の増加が大いに期待できる中、サザエの一定量の確保が必要です。水揚げは毎年落ちて昨年は平成22年の約半数の24トンで年々大幅に減少しています。漁業者も資源確保のため、規格外は再放流して資源保護に努めています。このままでは量の確保も困難になるのではと危惧するところ。水揚げ減少

#### 科学的分析による資源確保に努める

**【答弁】**

現状、アワビ等の稚貝等の放流は積極的に行っていますが、サザエは行っていません。町としても科学的に分析しながら資源確保に努め、不足時は他からの対応もあります。基本的には地元サザエを主軸として対応していきたいと考えます。

#### 1次産業減少抑制と対策を

**【質問】**

漁業者を取巻く環境は消費者の魚離れ、魚価の低迷や燃料費の高騰等大変厳しいです。加えて漁業者も高齢化が進み、就業者数も減少しております。平成17年は84人、現在では38人です。年齢別では65歳以上の高齢者が半数以上を占めています。最近、テレビで漁師さんの息子が後を継いでくれる明るい話題があ

り、極めてうれしく思う反面、逆に高齢で辞められた方もおられ残念です。60歳以下の人はわずか10数名と少数で将来漁業が大きく衰退するところが懸念されます。資源を活かした活動は危ぶまれると考えます。一次産業就業者の減少抑制と後継者対策についてのお考えを伺います。

#### 1次産業の基礎固めから

**【答弁】**

労働環境を改善し、経営の効率化を図ります。冬場の安定した操業ができるよう漁港内の砂の撤去、燃料の取引税免除等を考えます。好評な魚が獲れ、安定した所得で後継者が増える可能性もあり、行政も頑張ります。



サザエの炊き込みご飯

中学生から

人口減少や高齢化が進み、一人暮らしのお年寄りが増えています。空き家を再利用、改修して、多くの世代がコミュニケーションをはかれる「憩いの場」を作ってはどうかでしょう。

議員から

議会としても人口減少対策に重点的に取り組んでいきます。世代を越えて集まる場は町に必要ですね。

中学生から

少子高齢化が進み、小中学校行事の規模が小さくなり、寂しく感じられます。また、お年寄りとのコミュニケーションションをはかるため、みんなが楽しめるイベントを、町で企画してほしいです。

議員から

改善策を打ち出しています。追いつかないのが現状です。今後も政策提言をしていきたいと思っています。イベントを中学生の皆さんが企画することもぜひ考えてみてください。地域の皆さんを巻き込んでいくことも大切です。

中学生から

中学生までの医療費の助成は出雲崎のとてもよい制度だと思っています。これからも続けていってほしいです。

議員から

平成26年度から医療費の助成を18歳まで拡大しました。医療費抑制のためには健康に過ごすことが大切です。

## 初めての 出雲崎中学生との意見交換会



11月19日、議会基本条例第5条第5項に基づき、初の試みとして、出雲崎中学校生徒会と議会との意見交換会が役場議場にて行われました。

若い発想による貴重な数多くの意見をいただきました。議員にとっても中学生の生の声が聴けるうれしい機会でもありました。ご紹介したほかにも、たくさんのご意見をいただきました。それらを実現に結びつけていくよう頑張ろうとの思いを新たにいたしました。

### 参加いただいた中学生の皆さん

矢川 小春さん 佐藤 可苗さん 小林 幸平さん  
 佐藤 俊介さん 荒木 寿水さん 金泉 雪菜さん  
 加瀬麻里亜さん 徳永 萌さん

中学生から

町に彩りが少ないように感じます。「花を咲かせよう運動」「イルミネーション」「いすもくん」の登場などをもっと広められるといいと思います。

議員から

町全体が明るく、元気の出るような施策を考えていきたいと考えます。ゆるキャラも検討したいです。

## 総務文教常任委員会

11月12日、議会閉会中の所管事務調査として、説明員に教育長等の出席を得て、小・中学校の視察を行いました。

小・中学校とも各クラスの授業参観を行い、校長・教頭先生から学校指導方針の説明を受け、意見交換を行いました。

### 課題は

小学校では、早寝早起きができない、テレビの視聴時間やゲームの時間が長い。このため、家庭学習の時間が短く、学力向上を妨げている。これらの要因が、国や県の平均よりも高いことが課題であるとのこと。

### 学力の向上を重点に

中学校では、平成25年度の重点課題として学力の向上を掲げ、「学習指導」、「特別活動」、「道徳教育」、「生徒指導」、「総合的な学習の時間」の5項目の努力事項を設け取り組んでいます。

議員からもNRT（標準学力検査）の英語の偏差値などが低いことについて意見が出され、生徒の家庭学習時間向上のため、授業に活かせる宿題等を出し、家庭学習の定着を図っています。

また、小・中学校の多くのクラスで電子黒板を活用して授業が行われていました。今後、一人ひとりに合った指導を行っていき、全ての子どもが自己肯定感を持ち、その子なりの個性、能力を十分発揮し、楽しく学校生活を送れるように努めていただきたいと思っています。

(仙海 直樹)



中学校部活動の様子



# 行政視察報告

(平成25年11月6日)

## 鳥取県 日南町

**研修内容** 農業再生研修制度と再生エネルギーについて

日南町は山陰中国山地のほぼ中央に位置し、島根や岡山県に接し、標高約500メートルにあり、人口は当町より少し多く5300人、面積は約8倍の340km<sup>2</sup>と広く9割が森林です。高齢化率は46・5%で日本の30年後の姿といわれています。

### 農業研修生受入と定住化

日南町は全国から農林業研修生を積極的に募集し定住者の育成に取り組みしており、現在研修生の約8割の若者が定住しています。

農業研修生は3年目で自立を、林業研修生は2年目で町内林業企業への就職を目指します。自立にあたり、町は研修手当月額12万円や住宅の斡旋等青年就業給付金事業等活用しています。(問題として冬場に仕事が少ない除雪、スキー場のアルバイトで対応している)

### 再生可能エネルギーについて

平成23年、議会発議で日南町再生可能エネルギー利用促進条例が制定され、太陽光、小水力、木質バイオマスの推進を図っています。



地元の木材をふんだんに使った新庁舎

太陽光発電は鳥取県内でいち早く小学校跡地に町営施設を建設しました。電力はすべて売電し、福祉施設者の雇用の場となっています。建設に当たっては、町民債利率12%の再生可能エネルギー債を発行し、多くの申込みがあり、町民の理解と行政への参加意識を高めました。

小水力発電1基を町営に移管し、基幹改良工事を行い売電する。本年は子育て支援センターに太陽光発電を設置するそうです。

木質バイオマスは、町内の木材団地で発生する端材屑を木製バイオマスボイラー燃料にし、町内主要施設は木質チップボイラーに変更を検討中です。資源を活かし太陽光、水力、バイオマス等再生可能エネルギー事業を推進し、30年後の自給自足、脱原発、地域から安心、安全なエネルギーを出していくことを目指しています。(加藤 修三)

## 鳥根県 奥出雲町

鳥根県の山間部にある奥出雲町は、古事記、日本書紀の「ヤマタノオロチ伝説」やスサノオノミコトが降臨したと伝えられる出雲神話発祥の地です。人口は約1万4200人、総面積は約368km<sup>2</sup>、出雲崎の8倍の面積に3倍の人たちが住んでいることになりました。高齢者支援と子育て支援について視察してきました。

### テレビ電話での高齢者サポートシステム

奥出雲町では全町に光ファイバー網を整備しています。国の「地域ICT利活用モデル構築事業」により設置されたテレビ電話を活用し、コールセンターや地域包括支援センターなど関係機関が連携して、声がけ、見守り、日常生活支援活動を行っています。

独居高齢者を対象に、コールセンターが中核となって、テレビ電話による声掛けや、生活を支援するサービスを提供しています。テレビ電話で日用品の注文ができ、血圧のデータ管理もしてくれれます。朝、起きたら画面にタッチするだけで家族やセンターに安否確認のメールが送信されます。

何よりも、人と人のコミュニケーションを大切にしているシステムに温

かさを感じました。

### 高校卒業まで一貫した子育て支援

奥出雲町の子育て支援課は教育委員会内に設置されています。保育園から小中学校へとスムーズな支援を継続して行うためです。また、民間の福祉会と協力し、官民一体となって町独自に保育園と幼稚園の機能を併せ持つ「幼児園」化を進めています。

印象に残っているのが、「0歳から高校卒業までをひとつの育ちとして一貫して支援する」ということです。子どもは町の宝。支援のシステムを構築するとともに、みんなが温かく見守る周囲の姿勢こそが大切なのではないでしょうか。

見習うべき多くのことを見聞きしてまいりました。今後の議会に活かしていきたいと思えます。(高桑 佳子)



研修風景

コールセンター

★第1回★

# おじゃまします!



熱心に作っています

今回は「町民の声」に代わり、議員が皆さまの行事やサークルにおじゃまをしてお話をうかがう新しい企画「おじゃまします!」がスタートいたします。

初めての「おじゃまします!」は12月14日、天領の里で行われたカルチャー教室にうかがいました。今回はフェルト手芸で新年の干支、午とお寿司の飾りを作っておられました。

## 特別メニューはサザエの炊き込みご飯

**議員** カルチャー教室では昼食に陣やの特別メニューが用意されるのですが、今日はいかがでしたか?

**参加者** もちろん、サザエの炊き込みご飯でしたよ。とてもいいお味でした。特別メニューも毎回楽しみです。

## 「地域のお茶の間」がほしい

**議員** これからの出雲崎の町に望むことは何でしょうか。

**参加者** 少子高齢化が進んで一人暮らしのお年寄りがたくさんいます。これからの寒い時期は特に一人でいるのはどうしても寂しいからみんなで寄りたいけど、気軽に集まれる場所がなかなかなくてね。遠くまで行かなくても、ご近所で寄れる「地域のお茶の間」がほしいですね。



見事な出来栄え

昼食の後に楽しくお話をうかがうことができました。

**議員** 長岡では、コミュニティに足湯を作っている場所があるところがあるね。

**参加者** 迎えに来てもらって、ふれあいの湯にも出かけていきますよ。町内をあちこち回るので、ゆつくりできる時間が短いことが少し残念です。ふれあいの湯も椅子に座ってゆつくり腰湯ができるといいと思いますね。

## 表紙の小話



冬休み明け早々に、出雲崎中学校、出雲崎小学校で恒例の書初大会が行われました。

出雲崎小学校では、低学年は各教室で硬筆を、高学年は広い体育館いっぱいを使って毛筆の作品作りを取り組みました。

冬休みに一生懸命練習した成果を見せる時です。寒い体育館で、かじかんだ手に息を吹きかけて温めながら頑張っていました。

淡く墨のおいがする中で静かに心を落ち着けて、書いてはながめ、ながめてはまた書き、一心に筆を走らせている姿は、さすが良寛の教えを受け継ぐ子どもたちと感心しました。

(高桑 佳子)



## 編集後記

新人議員として議会だより編集に携わり、先輩議員の指導を受けながら半年が過ぎ、新年を迎えることができました。昨年、出雲崎議会を4会場で開催し、議会基本条例制定や決算報告等の説明、町民の皆様の素朴なご質問や率直なご意見、要望を聞かせていただきました。

これからも議会だよりは正確な情報をより早く、わかりやすくお伝えしていくよう心掛け、皆様と一緒にこの出雲崎をより安全、安心で住み良い町に築き上げていきたいと思っています。

ぜひとも皆様のご意見、要望等をお聞かせいただき、改善していきたいと思っておりますのでご協力をよろしくお願い申し上げます。

(加藤 修三)

- 議会報特別委員会
- 委員長 三輪 正
- 副委員長 仙海直樹
- 委員 加藤修三
- 委員 高桑佳子